2012年度組織学会研究発表大会プログラム

第一日目　6月16日（土）　［大学院生セッション・研究発表セッション・テーマセッション］

会場		会場A	会場B	会場C	会場D	会場E
教室名		コラーニングハウスⅠ　104	コラーニングハウスⅠ　105	コラーニングハウスⅠ　106	コラーニングハウスⅠ　107	コラーニングハウスⅠ　103
ｾｯｼｮﾝ		【大学院生セッション1】				
司　会		輕部 大（一橋大学）	貴志 奈央子（明治学院大学）	平野 実（県立広島大学）	藤田 英樹（東洋大学）	
10:00-10:20	1	【A1】 取引関係から見る中国企業の人材育成 -大連ソフトウェア開発企業の事例- （小林美月：東京大学）	【B1】 既存企業の投資行動の決定因について －破壊的技術論への批判的考察－ （堀口悟史：神戸大学）	【C1】 日本企業の海外企業買収の成否とその背景―長期的視点からの実証研究 （松本茂：神戸大学）	【D1】 従業員の組織的同一化プロセスの解明 （林祥平：神戸大学）	
10:20-10:40	2	【A2】 高学歴外国人の日本の労働市場への参入 （Hakkarainen，Nina：ヘルシンキ大学）	【B2】 生産技術ドリブンイノベーションの発生論理 （渡邊恵子：東京理科大学）	【C2】 法人税率低減は組織変革に影響するか？ －近年のM&A頻度による実証研究－ （松縄恵理子：早稲田大学）	【D2】 制度の採用と運用に関する実証研究-日本企業における執行役員制度の普及を事例に- （内田大輔：一橋大学）	
10:40-11:00	3	【A3】 中小企業の国際分業と企業成長 （浜松翔平：東京大学）		【C3】 合併と従業員重視の経営がもたらす価格競争―セメント業界を事例として― （酒井康之：一橋大学）	【D3】 離職要因としての人事評価に関する実証研究 （余合淳：神戸大学）	
休憩（10分）						
ｾｯｼｮﾝ		【大学院生セッション2】				
司　会		山田 耕嗣（専修大学）	塩次 喜代明（九州大学）	若林 直樹(京都大学)	藤本 昌代（同志社大学）	
11:10-11:30	4	【A4】 競争ダイナミクスを通じたビジネスモデルの変化：国内SNS3社の事例 （足代訓史：早稲田大学）	【B4】 製品アーキテクチャー形成に関する考察 -LCDとPDPを事例として - （佐藤治：東京工業大学）	【C4】 B2B製品の購買における技術的価値と情緒的価値の影響～印刷機械メーカー小森コーポレーションの事例～ （尾上平祐：早稲田大学）	【D4】 組織アイデンティティの構造の可視化 （金倫廷：早稲田大学）	
11:30-11:50	5	【A5】 企業の長期存続についての研究 -伝統産業の事業システムから- （鈴木志保：名古屋市立大学）	【B5】 製品アーキテクチャからみた造船産業における製品戦略 （向井悠一朗：東京大学）	【C5】 技術情報により形成される負の製品価値 -食品産業における製品構想のマネジメント- （田原優樹：早稲田大学）	【D5】 組織社会化概念の再考：社会化と自律性の対立を超えた新たなアジェンダ （福本俊樹：神戸大学）	
11:50-12:10	6	【A6】 音楽産業におけるレコード会社のビジネスシステム （永山晋：早稲田大学）		【C6】 ドミナント・デザイン形成後の製品差別化競争-デジタルスチルカメラ産業の事例分析 （石川敦史：神戸大学）		
昼休み（12：10～13：10）						
ｾｯｼｮﾝ		【大学院生セッション3】				
司　会		平本 健太（北海道大学）	松嶋 登（神戸大学）	加藤 寛之（国士舘大学）	安藤 史江（南山大学）	
13:10-13:30	7	【A7】 企業組織における電子メール・ネットワーク構造と管理者行動 （秋庭孝俊：立教大学）	【B7】 物象化された環境問題に基づく環境経営の成立：トヨタ自動車プリウスの普及戦略の制度分析 （石黒督朗：首都大学東京）	【C7】 工業デザインが製品価格及び製品満足度に与える影響　-携帯電話の成熟過程における分析 （秋池篤：東京大学）	【D7】 若手従業員の自発的行動に関する研究 （貴島耕平：神戸大学）	
13:30-13:50	8	【A8】 ネットワーク外部性の便益と情緒的価値のトレードオフ （井門孝治：早稲田大学）	【B8】 カテゴリ間の越境による市場参入―周辺市場の経由によるユーザ獲得戦略― （芦澤智之：早稲田大学）	【C8】 食品の製品価値におけるデザインの役割-対照実験によるデザイン価値の測定- （池田大輔：早稲田大学）	【D8】 企業の正規従業員登用制度に関する研究 －食品製造販売業・小売業へのインタビュー調査- （神野由香里：北海学園大学）	
休憩（10分）						

セッション		【研究発表セッション1】				【テーマセッション】
司　会		淺羽 茂(学習院大学)	浅川 和宏(慶應義塾大学)	福嶋 路(東北大学)	近能 善範(法政大学)	
14:00-14:40	9	【A9】 戦略硬直化のスパイラル (中川功一:駒澤大学)	【B9】 日本のエンタープライズ系ソフトウェア産業の構造と中小ソフトウェア企業の競争力の研究 (久保田勝、藤村修三:東京工業大学)	【C9】 企業の長寿性指標について (後藤俊夫:日本経済大学)	【D9】 規制業種における組織変革-巣鴨信用金庫における組織文化変革の事例- (露木恵美子:中央大学)	【E1】 契約、そして組織内での人権・自由・正義 (蔡ｲﾝ錫:専修大学、間嶋崇:専修大学、服部泰宏:滋賀大学、林洋一郎:法政大学)
14:40-15:20	10	【A10】 企業における戦略的意思決定についての研究-戦略的意思決定の能力に関するモデル構築と検証- (加藤厚海、竹本崇:広島大学)	【B10】 Organizational ambidexterityと組織の長期的成長との関係:医薬品産業を題材とした実証分析 (鈴木修:関西学院大学)	【C10】 老舗企業の長寿性-生物組織の視点から- (森下あや子、舘岡康雄:静岡大学)	【D10】 地域における産業構造と地方公共団体の意識 (嶋野武志:長崎大学)	
15:20-16:00	11	【A11】 プラットフォーム企業の競争戦略：半導体製造装置産業の取引ネットワークの実証研究 (立本博文:兵庫県立大学)	【B11】 複雑性の増大と系列システムの進化:自動車産業における電子化の事例 (糸久正人:東京大学)	【C11】 伝統技術の伝承と組織学習-八丁味噌メーカーにおける技術伝承の仕組み- (加藤敬太:小樽商科大学、古澤和行:愛知学院大学)		
		休憩(10分)				
16:10-17:50		高宮賞授賞式 ・ 会員総会 （ 会場 ： プリズムホール ）				
18:20-20:00		懇親会 （ 会場 ： ホテルボストンプラザ草津 ）				

第二日目　6月17日（日）　［午前：高宮賞受賞セッション・特別講演　午後：研究発表セッション］						
8:30-9:30		Breakfast Meeting for Women（詳細については別紙参照）				
9:40-10:50		高宮賞受賞セッション （ 会場 ： プリズムホール ）				
		休憩(10分)				
11:00-12:10		特別講演 ： 津田雅也(大日本スクリーン製造株式会社元副社長)(会場 ： プリズムホール)				
		昼休み(12:10～13:10)				
会　場		会場A	会場B	会場C	会場D	
教室名		コラーニングハウスⅠ　104	コラーニングハウスⅠ　105	コラーニングハウスⅠ　106	コラーニングハウスⅠ　107	
セッション		【研究発表セッション2】				
司　会		高尾 義明(首都大学東京)	金井 一頼(大阪商業大学)	青島 矢一(一橋大学)	加藤 俊彦(一橋大学)	
13:10-13:50	12	【A12】 corporate apologia-企業危機を鎮静化し、復活するためのpublicとのつきあいかた- (築達延征:広島大学)	【B12】 知識と社会的・公共的価値をつなぐ中間機関の機能とマネジメント (吉澤剛:大阪大学)	【C12】 医薬品企業における提携管理活動の探索的研究:統合者としてのアライアンスマネジャー (中本龍市:医療科学研究所)		
13:50-14:30	13	【A13】 経営学におけるプライバシーの考え方 (八田真行:駿河台大学)	【B13】 制度的多元性の中での「ミュージアム」:東京都写真美術館における組織変革の事例 (畑和之:首都大学東京)	【C13】 インハウス・デザイナーの技術・デザイン統合能力-特許電子図書館(IPDL)の特許・意匠公報データに基づく工業デザイナーの技術へのコミットメント度分析- (長内厚:早稲田大学)	【D13】 技術選択とイノベーション-日本の重電企業を事例に (工藤悟志:東京大学)	
		休憩(10分)				
セッション		【研究発表セッション3】				
司　会		杉万 俊夫(京都大学)	安田 雪(関西大学)	延岡 健太郎(一橋大学)		
14:40-15:20	14	【A14】 正規と非正規の協働によるマネジメント-S社における業務の標準化と可視化を通して- (槇谷正人:摂南大学)	【B14】 ソーシャル・キャピタルの視点からみた体験消費　～消費者の持つ人間関係と、体験消費(旅行・飲食等)の関係を探る～ (金澤良昭:西武文理大学)	【C14】 日本企業の多角化戦略によって生じた組織変化:花王を例として (童静瑩:九州大学)		
15:20-16:00	15	【A15】 リーダーシップの実践理論の形成プロセス エピソード記憶と意味記憶の視点から (片岡登:アステラス製薬)	【B15】 ユーザーイノベーションプロセスの解明:リードユーザーによる製品開発プロセスのモデル (中村友哉:広島大学)	【C15】 トヨタウエイ(トヨタウエイ2001＋営業トヨタウエイ)の異国間伝播法について (塚田修:グローバル・ディグニティ)		